

質 問 順 位	7	質 問 者	小 野 保 之 議員	
件 名	項 目	要 旨		メ モ
1. 地域活性化	1. 地域おこし協力隊について	1. 制度が始まってから、10 年を迎えました。新聞等で全道各市町村の地域おこし協力隊の募集をよく見ます。空知管内では 2017 年度で約 120 人、道内振興局別でトップを誇るようです。先般、沼田町で大阪出身の女性が「せきPAN」を開いたと新聞に掲載されました。経験を生かし土地に根付く隊員がいる一方、いろいろな問題で任地を離れる人も多いと聞きます。空知の隊員も 6 割近くが流出しているようです。地域活性化に貢献がある中、活動内容で公益性が疑問視される事例もあるようですが、まち・ひと・しごと創生総合戦略にもつながることにもなると思います。滝川市の地域おこし協力隊の現状と、動向について把握されているのか伺う。		
2. 教育行政	1. 学校の制服の価格について	1. 指定制服の価格で東京都の学校では、代金が 8 万円との報道がありました。道内の公立学校でも制服に大きな価格差があるようですが、短期間の学校生活になぜ高額な制服が必要なのか疑問です。道外では制服が買えず入学式を欠席、または、不登校になった家庭もあったようです。2～3 人が同時入学の家庭は大きな負担どころではありません。滝川市内の中学校と滝川西高校の制服の価格ですが、資料からの抜粋によりますと、それぞれ違いがあります。価格・メーカー・指定店等の決定はどのようにして行われているのか伺う。		
	2. いじめ防止対策の取り組みについて	1. 昨今、学校において多数のいじめが相変わらず横行し、自殺まで至るという最悪の事態も発生しています。いじめはどの学校においても存在すると言わざるを得ません。いじめが放置、隠ぺいされることにより、自殺という最悪の事態にならないためにも早期発見と対応が不可欠であります。そのため軽微と思われる事案でも学校、保護者、地域、行政すべての関係者がいじめを認知し、解決に取り組む必要があります。いじめの認知は発生件数ではなく、いじめられた児童、生徒の立場に立つて行うものであり、積極的に認知件数を上げることが重要だと考えます。学校、保護者、教育委員会を含む行政すべての関係者の認知度合について伺う。		

質 問 順 位	7	質 問 者	小 野 保 之 議 員	
件 名	項 目	要 旨	メ	モ
		2. いじめの早期発見のためのアンケート調査が定期的に行われていますが、子どもたちにとって選択式など回答しやすい工夫がなされているのか伺う。		
		3. 教育委員会、学校、保護者、地域社会において、いじめ防止対策推進法が周知され、小・中学校で道徳が教科化されたが、教育委員会や学校等での同法に基づく取り組みが進んでいるのか伺う。		
3. スポーツ振興	1. 石狩川河川敷パークゴルフ場について	1. オープンから1年経過しました。利用者数は、努力の割にいま一つ伸び悩んでいるようです。地名も「パークフィールド72」よりも「石狩川河川敷」の方がよく理解されています。一部ですが市内の利用者、市外の利用者が道順がわからず、困っている人を見かけます。案内板が小さい等、要所の案内板の再確認が必要と思います。 今後のパークゴルフ場のあり方、維持体制は雇用を含めてベストなのか伺う。 また、現状の利用状況と今年度の利用状況の見込みについて伺う。		